

令和2年度 外部有識者による主な意見とその対応状況

令和3年2月1日

(アンケート設問) 本学との連携活動(共同研究等)を進めるにあたり、課題や要望等がありましたら自由にご記入ください。

NO	イベント	主な意見(大学に対する要望)	対応状況
1	産学官金連携交流会	十勝農協連や畜大卒業生が就職している地元企業に支援を依頼するのはどうか。	研究開発の活発化・強化のため、十勝農協連とは案件に合わせて積極的に意見交換を行っており、共同での競争的資金応募等行っています。また、大学の活動を活性化するため、本学の卒業生が就職した企業等に寄附金の依頼や連携フェローに就任いただき情報をいただくなどしております。 昨年から新たに始めたクラウドファンディングでは、酒蔵プロジェクト等で多くの資金を確保するなどしており、これらの取組みをより強化していく予定です。
2	産学官金連携交流会	関係先生方々だけではなく、関係性のありそうな先生とのつながりが持てればいい。また、お酒の作り方等先生方に講師をお願いしたい。	産学官金交流会等の情報発信や出会いの場作りを補強するために企業等集積プラットフォームを今年度中に構築し、本学の情報発信・教員との関係構築の機会を広く提供していく予定です。
3	産学官金連携交流会	温暖化を先取りし新たな輪作体系の確立を目指した研究の情報を知りたい。	今年度中に、本学での産学官金連携や社会ニーズに対応する研究促進のため、プラットフォームの設立を検討しており、本学の研究に関する情報発信並びに、プラットフォームのなかで特定の分野に関心のある企業等が集まった研究会や研究開発グループの立ち上げを行う予定です。

(アンケート設問) その他、本学の運営や教育研究活動に対しての要望がありましたら自由にご記入ください。

4	産学官金連携交流会	3大学経営統合による一層幅広い研究を大いに期待しております。十勝においては生産者と工業技術者との接点が限定的な印象があるので(情報需給のアンマッチ)、各分野の課題や技術の情報共有を一層深化させ、農・工・商の専門学術機関によって組成される新法人が、実学の最高権威としてさらに発展されることを心より期待し、応援しております。	新法人においては、オープンイノベーション・センター(仮称)を中心に、商学・農学・工学の研究データを一元管理して知識集約型社会を見据えた産学官連携を推進し、これまで以上に産業界のニーズを直接的に把握して効果的な共同研究を企画・実施できる体制を整備することで、ご期待に添えるよう尽力いたします。
5	産学官金連携交流会	川端杜氏の話で、酒粕などの廃棄物の処理に困っているとのこと、もったいなく心が痛みました。酒粕の強みを活かした商品開発をしてほしいと思います。	本学では本年より農畜水産の廃棄物を循環的に活用していく農畜水産連携の取組みを強化しております。碧雲蔵の酒粕利用についても既に商品開発に関心のある地元企業様から問い合わせをいただいております。上川大雪酒造株式会社様にお伝えして、共同研究の検討をいたしております。
6	産学官金連携交流会	碧雲蔵等の情報も含めて、学内外への情報発信をより一層強化してほしい。	コロナ禍において各種行事が中止となり、発信する情報が少なくなっていますが、大学紹介番組制作をテレビ局に委託して放送し、大学ウェブサイトや各種SNS等をから閲覧できるようにしました。また、高校生・入学希望者向けに作成したWebオープンキャンパスについても、掲載しています。 碧雲蔵については、杜氏である川端客員教授による講義等、大学が関連して実施したものについて、情報を発信しており、また、上川大雪酒造(株)の尽力もあり、大手新聞・全国区のテレビ中継に数度取り上げられています。 なお、大学からの情報発信を強化するため、今後、教職員に情報提供依頼を行います。